

2023年6月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

製造業の生産高、5月は一転して成長へ

主な動向

生産高と新規受注数、再び上昇

景況感は2022年1月以来の高水準を記録

サプライヤー納期、5月は安定的に推移

2023年5月のデータ収集期間：2023年5月12～23日。

5月は生産高と新規受注数がわずかに上昇したこともあり、製造業全体の業況は回復。最新の調査はまた、今後一年にわたる見通しが高まり、2022年初頭以来の高水準に改善したことを指摘した。

サプライヤー納期は、5月に2020年1月以来となる短縮をみせた平均リードタイムにより、安定的に推移した。産業用半導体の供給不足を示唆する報告が再び寄せられている一方で、製造業の多くの企業が原材料入手状況の回復についてコメントした。

5月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI) (製造業の全体的業況を表す指標)は、4月の49.5から上昇し、50.6を記録。変化なしを示す50.0を上回ったのは2022年10月以来となる。最新の指数は調査史上平均値の50.7とほぼ変わらず、業況全体が緩やかに回復していることを示した。

5月のデータは、2022年6月以来の生産高上昇を指摘。全体的にはわずかだったが、増加率は過去1年間で最大だった。製造業の生産高が成長に転じたことについて、国内の業況回復と、それに伴う顧客の支出増加が要因に指摘された。

新規受注数の増加は全体的にわずかだったが、2022年4月以来最も速いペースで増加した。調査回答企業らは、高まる企業と消費者の見通しが、全体的な顧客需要増大に寄与したと指摘した。しかし、顧客の過剰在庫が5月の新規受注数増加の妨げとなったとコメントに寄せる一部の企業もあった。最新調査期間では、特に中国への輸出売上低迷も新規受注数の成長を阻んでいた。

雇用者数は5月、わずかに増加。雇用増加率は26か月間続く成長の中で、最も低い水準だった。従業員の雇用には生産需要の増加が指摘されたものの、退職者に代わる人材補充はなかったとコメントに寄せる企業が多かった。製造業が増加する新規受注数に対応できるだけの十分な生産能力を有していたことが示唆されたほか、最新調査は、受注残が8か月連続で減少していることを指摘した。

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典：auじぶん銀行、S&Pグローバル

コメント

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、エコノミクスディレクターのTim Mooreによる最新調査結果のコメント

「最新のauじぶん銀行PMI調査は、製造業の生産高が5月に顕しく改善したことを指摘。6か月連続に及んだ業況低迷は終わりを告げた。

国内の業況回復は顧客の支出増加につながり、主要輸出市場における低迷する需要を相殺する形となった。さらに、総合新規受注数が回復をみせた。世界のサプライチェーンが正常化し、慎重な在庫計画の必要性が低くなったことによる顧客の在庫調整が背景にある。

サプライヤー納期は、2020年1月以来となる改善を記録し、これが企業の景況感上昇に寄与した。また、5月の製造業全体における購買価格のインフレ低下にもつながった。全体的な購買価格上昇率は、過去2年超の期間中で最も低い水準だった。利益率圧迫の緩和に対する期待や、経済見通しの信頼感上昇が後押しとなり、製造業の生産高見通しは2022年初頭以来最大水準だった。」

(次頁に続く)

最新データでは、新規受注数が増加していたにもかかわらず、購買活動に大きな減少がみられた。購買数量は2022年8月から継続的に減少が続いているにも関わらず、安全在庫の積み増しとサプライチェーンの回復を受け、購買品在庫の増加率は直近6か月間で最大だった。季節調整済みサプライヤー納期指数は5月、およそ3年ぶりに変化なしを意味する重要な50.0を上回った。

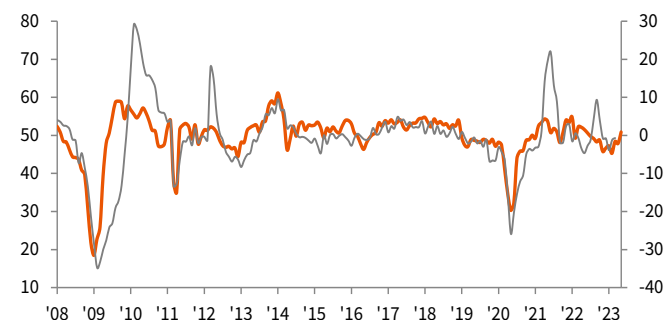
需給のバランスが回復したことが、製造業全体の購買価格インフレの緩和につながった。平均間接費の上昇率は、2021年4月以来の低水準だった。一方で、高騰する原材料価格や光熱費、人件費の増加分転嫁により、5月は販売価格が顕著に増加。しかし、インフレ率は直近3か月以来の低水準に低下した。

今回の調査では、回答全体の8%の企業が生産高は減少すると予測したのに対し、そのおよそ4倍となる34%の企業が生産高は増加すると期待しており、景況感は2022年1月以来の最大値を更新した。調査回答企業からは、原材料の入手状況が回復したことや、国内の業況回復への期待、顧客の在庫調整が落ち着いたことを指摘する声が多かった。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典: auじぶん銀行、S&Pグローバル、経産省

お問い合わせはこちらへどうぞ

auじぶん銀行

Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti

エコノミスト

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス

電話: +44 1344 328 370

usamah.bhatti@spglobal.com

SungHa Park

コーポレートコミュニケーションズ

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス

電話: +82 2 6001 3128

sungha.park@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、S&Pグローバルが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2023年5月のデータ収集期間: 2023年5月12~23日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは

auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク(NYSE: SPGI)は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください: www.spglobal.com

S&Pグローバルのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@spglobal.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インクに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱漏、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じうるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedの使用が許諾されたものです。S&P GlobalはS&P Global Ltd.及び/又はその関連会社の登録商標です。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱漏(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

PMI®

by S&P Global

© 2023 S&P Global